

ジャパンレジリエンスアワード 2024（強靱化大賞）準グランプリ受賞

山崎が代表を務める高知防災プロジェクトが標記の賞を受賞しました。

4月23日に東京で授賞式が行われ出席しました。

今年はアワード10周年ということで表彰式には総理大臣、国土強靱化担当大臣も出席されました。これをきっかけに全国の自治体でも車中泊避難所の検討が始まるきっかけになることを願います。

受賞概要：全国初の車中泊避難所の取り組みとその波及

- ・危険だから推奨しないではなく避難者ニーズに応え「安全な車中泊の模索・多様な避難生活」に発想の転換を行った。
 - ・内閣府防災のガイドライン、内閣官房の取組事例集にも取り上げられ公的にも評価されている。
 - ・群馬・新潟・福岡など取り組みが全国に波及し、全国の取り組みの基礎を築いた。
 - ・自動車関連企業の研修や車中泊フェアの監修など民間にも波及している
- などが評価されました。

連携団体への謝辞

今回の受賞は他団体との協働があつてのこと。連携いただいた方々に感謝申し上げます

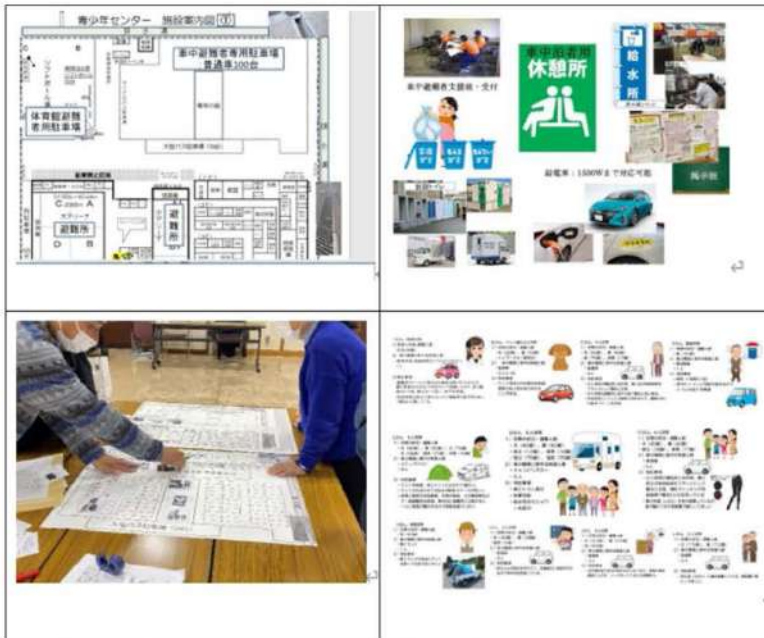
- ・九州防災パートナーズ
- ・日本福祉大学山本教授
- ・トヨタ自動車社会貢献部
- ・いの町 高知県、群馬県、新潟県、

【高知防災プロジェクト(高知県高知市)】

全国初の車中泊避難所の取り組み
ソフトの3重防護(伝える・つなげる・興す)

取組概要

- 車中泊の危険性は自己責任で放置することが問題であり、避難所として集約し支援・管理を行えばリスクは大幅に軽減できると考える。車中泊希望者増大の現実を受け止め、リスクを軽減できる車中泊避難所の検証と訓練を実施。
- 緊急避難ではなく災害発生後の避難生活に特化。同時に防災啓発を行い、普段接点の少ない国（港湾事務所）、ハード整備を行う建設事業者と地域住民（防災組織）をつなげることに重点を置いている。
- 車中泊を推奨しない自治体が多いが、希望者は増加傾向にある。多様な避難生活の観点から「リスクを軽減する車中泊避難所」の検証を目的に訓練を実施。ハード整備が進むことで安心・油断・慢心が生まれないようソフトの3重防護を推進



車中泊避難所対応事例ワーク/車中泊避難者支援検討ワーク

資料9 防災講演研修一覧(令和3年4月~令和5年3月)抜粋

日時	内容	研修名	主催
R3.5.21	講演	四万十町老人クラブ連合会総会 防災講演	四万十町社会福祉協議会
R3.7.18	研修	大月中学校避難所研修	大月中学校
R3.8.4	講演	大塚小学校避難所研修	大塚小学校
R3.8.21	講演	要配慮者向け避難所研修	香川こだま学園
R3.10.18	研修	三好市山城地区防災研修	三好市社会福祉協議会
R3.10.23	講演	徳島県防災士養成研修	防災士研修センター
R3.10.29	講演	香南市商工会女性部防災研修	香南市商工会
R3.10.24	講演	高知県防災士養成研修 避難行動・避難所運営	高知県 全6回
R3.11.15	講演	海部中学校避難所研修	海部社会福祉協議会
R3.11.24	研修	室戸湾防災定時避難所研修	室戸高校
R3.11.29	研修	春野中学校避難所研修	春野中学校
R3.12.7	講演	鶴田小学校避難所研修	鶴田小学校
R3.12.9	研修	大月中学校避難所研修	大月中学校
R3.12.15	研修	那賀町十沢地区防災研修	那賀町社会福祉協議会
R4.2.5	研修	避難所における要配慮者支援研修	高知市民運動サポートセンター
R4.2.8	研修	高知県自主防災組織人材養成研修	高知県
R4.2.9	講演	土佐清水市議員研修:災害と人権	土佐清水市
R4.2.13	講演	下知地区民生児童委員防災研修	下知地区民生児童委員協議会
R4.2.21	講演	高知商工会議所青年部防災研修	高知商工会議所青年部
R4.5.21	講演	高知県女子防災勉強会	高知県女子部
R4.8.29	研修	追手前ゼミナール(防災クロスロード)	追手前高校
R4.8.11	研修	丸の内高校(11th年度)避難所研修	丸の内高校 全2回
R4.8.23	講演	香南市企業等人材開発連絡会合同研修会	香南市
R4.9.29	講演	一ツ橋小学校防災研修	一ツ橋防災会
R4.11.9	講演	浦戸小学校防災学習	高知商工会議所女性部
R4.11.14	講演	藤池小学校防災学習 避難所運営	藤池小学校
R4.12.4	研修	江ノ口地区避難所運営研修	江ノ口地区自主防災会
R5.1.29	研修	いのく塾 HIG研修	高知新塾生
R5.2.16	研修	津野町立山中中学校避難所研修	津野町立山中中学校
R5.3.11	講演	地震津波防災を考える講演会 in ころち	国土交通省四国地方整備局
R5.3.19	研修	海部町避難所運営研修	海部町
R5.3.25	研修	福岡市避難所運営研修	福岡市

※赤字は学校(子ども対象)関係

レジリエンス性・継続性・波及性

<車中泊避難所>

- 危険だから推奨しないではなく、避難者ニーズに応え「安全な車中泊の模索・多様な避難生活」に発想を転換した。
- 車中泊避難所の検証を全国初で実施し、高知県、群馬県、新潟県などその後の全国の取り組みの基礎を築いた。 **<検証結果>**
- 災害関連死の大きな要因の体育館避難所（温度・湿度・衛生が劣悪）と比較すると、エコノミークラス症候群のリスクを軽減すれば、避難者ニーズの合致とコスト的にも効果が高いと言われている。車中泊避難所の検討が各地で進む中で多様な避難生活の選択肢の一つになる
- 全国初の車中泊避難所取り組みは内閣府ガイドライン、内閣官房取組事例集や報道で紹介され、高知県・群馬・新潟・福岡・徳島など全国に波及している。また自動車関連企業の研修や車中泊フェア監修など民間にも波及している。

団体概要

<高知防災プロジェクト>

・さんすい防災研究所（連携事業所）

代表者：山崎水紀夫（やまさき みきお）

所在地：高知県高知市横浜南町6308-3

・ハード整備と連動したソフトの3重防護活動

・民・産・官の連携を裏方としてつなげ支える



受賞スピーチ

内閣総理大臣挨拶

顧問や代表として3つの防災アワード全てで2位以上を受賞！

特筆すべきは「未災地ツアー」「イラストを使用した避難所配置研修」「車中泊避難所」など異なる取り組みやアイデアがいずれもトップクラスの評価をいただいていることです。

受賞スピーチ 内閣総理大臣挨拶

※高知防災プロジェクトとさんすい防災研究所

高知防災プロジェクトは山崎が代表を務める多業種のメンバーから構成される防災啓発団体（法人格なし）。さんすい防災研究所は講演・研修を請け負う個人事業主。

高知防災プロジェクトの連携事業所として、講演や研修を行う際は両者の名前を使っております。